

[令和3年度 第2回 評価部会 議事録]

日時 : 令和3年10月29日 15:30~16:10

出席者: 渡邊道子、阿部力、北瀬淳子、岡田隆(委員)、広瀬邦彦、長澤利恵子、桐谷鋼哉、渡邊健、佐々木悦郎、菅野光弘、五反田淳、川瀬セツ子

副校長

令和3年度、評価部会を始めさせていただきます。資料の確認をしてください。本日は、事務局として会を進行させていただきます。よろしくお願いいたします。評価部会では、1年間の学校目標の中間報告をさせていただきます。次第に沿って進めます。

副校長

では、会長挨拶をお願いいたします。

渡辺会長

こんにちは。日向くんが活躍されている姿をテレビで拝見しました。いろいろな特集が組まれていて、生徒同士が心が通っているなど感じました。先生方がその土壌をつくっていらっしゃると思います。こちらの、授業評価も見せていただき、授業に対する評価もあがっていますね。本日の報告も楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

副校長

ありがとうございます。続いて、校長よりご挨拶申し上げます。

校長

広瀬です。

学校運営協議会と評価部会は、中身は多少違うので、短い時間ですが、ご審議いただきご指導いただきたいと考えております。まず、学校の近況についてですが、時差通学を継続しております。感染予防対策は検温、消毒、教室では黙食指導を行っていますが、だんだん緩んできている部分もあるかなと思います。学校行事につきましては、最小限の中止でとどめたいと考え、文化祭は11月に実施します。修学旅行は今の時点で中止にします。機会があれば1泊でもやりたいというのが学年の意向です。

次に、まなびや基金のシステムについてお話させていただきます。旭高校と学校を指定して、県に寄付をしていただくと直接的に旭高校が受け取れるというシステムがあります。ナノソルティックの増田さんという方がいらっしゃって、7期生で私の学年が1学年下なのですが、写真部で活躍していてサッカー部の写真を撮りにきてくれたという思い出もあります。その方がこのまなびや基金でトータル650万円寄付していただきました。令和元年度が50万円、それ以降は100万円寄付していただいています。お名前と顔を覚えていただければと思います。

次はパラリンピックに出場した1年生の日向楓君です。こちらは報告会の様子です。(動画)パラリンピックの賞状は1階に飾ってありますので、ぜひご覧いただきたく思います。本人は、楽しかった、しかし・・・自己ベストを達成できず、コーチにも厳しく指導されたようで、担任に聞くと機嫌が悪かった、嬉しいのですが、悶々としていたようです。でも、登

校し始めたら明るく、周りの生徒もコミュニケーションをとってくれて表情も変わったとのことでした。12月にはユースの国際大会があり、バーレーンに行きます。学校としても応援したいと考えております。年末にNHKでも特集があり、共生社会をつくる担い手としてのパラ選手として、もしかしたら特集が組まれるかもしれません。そのようになりましたら、またご連絡します。

さらに今年度は、年末押し迫った日程ですが、イングリッシュキャンプを実施する予定です。福島ブリティッシュヒルズで2泊3日の予定です。グローバルスタンダードを目指して、同窓会にも、補助をお願いしたら10万円寄付をいただきました。来年以降は姉妹校交流など実施できたらとも考えております。後ほど旭アワードについてもお話させていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

副校長

ありがとうございました。では、本校学校目標の中間報告についてグループリーダーより説明させていただきます。

渡邊(教務G)

私からは2つあります。1つは、新学習指導要領への対応、2つめは組織的な授業改善についてです。1つめは、教育改正指針に沿った、魅力ある編成表ができあがったと思います。いくつか運用に向けた具体的な準備が今後の課題です。2つめの、組織的な授業改善への取組です。本校のランドデザインの新規項目である、「チャレンジできる生徒の育成」に絞って組織改善に取り組むことを今年度のテーマにしておりまして、生徒への授業評価の円グラフの資料になります。円グラフの内側が本年度、外側が昨年度の結果です。質問の5番目の回答がないのは、新たに項目として入っておりますので、昨年度データはございません。本格的な計画実施については、11月に授業実践と授業見学にかかっていきたいと考えております。1学期にテーマを設定したところで、8割以上肯定的な意見がありましたので、さらに11月授業改善月間でさらに数値を伸ばしていけたらと思います。

副校長

ご質問ご意見お願いします。

校長

補足します。オンライン授業についてです。9月から分散登校が始まり、年配の先生方はどうするんだと心配の声が多かったですが、始まってみると授業動画を撮ったり、クラスルームの双方向授業など実施して、一気にICTを活用した授業改善が進んだという印象があります。この点につきましても、年末のアンケートの結果をご覧いただければと思います。

副校長

委員の方々からご質問はいかがでしょうか。

北瀬

LHRとは何でしょうか。

渡邊

ロングホームルームです。50分間です。

北瀬

学活ですか。

渡邊

はい。

副校長

渡辺会長いかがですか。

渡辺会長

チャレンジすることについて、難しいことや新しいこととは生徒はどういうことと捉えているのでしょうか、一例で構わないのですが、ご紹介いただければと思います。

渡邊

私は、数学科ですので、私の授業で紹介しますと、ワークシートの中のチャレンジ問題に取り組めたかを自己評価として授業内に確認するといったことをしています。

渡辺会長

ありがとうございます。授業内でパターン化していくのはいいことですね。

副校長

次に、生徒指導・支援についてお願いします。

菅野(生徒支援G、生活指導G)

菅野と申します。

年間の目標としまして、いじめや挨拶に関して数値化して評価したいと考えております。遅刻は数字が出てくるものでもあります。挨拶できたアンケートに回答した生徒が6割を超えています。遅刻につきましては、校長からもありましたが、9月にオンライン授業もあったので評価ができないが、生活指導をする数としては減っているという印象があります。SNSによるトラブルによる特別指導件数が数件ありますが、携帯指導教室がコロナの影響で実施できなかったため、人権講演会を実施しました。内容は、SNSのトラブルに関するもので、オンラインでの動画視聴とし、アンケート集計中です。以上です。

生徒支援に関しては、宣言が長期に渡り、なかなか活動ができなかったことがあります。文化祭は、再々延期として、規模縮小をし、安心を一番大事にして実施する方向です。保護者の入場もなくして開催します。12月に球技大会に向けて、体育委員会で準備をはじめたところです。生徒にとっての大切な思い出を可能な限り、安全を担保しながらやっているところです。

阿部

支援が必要な生徒への指導はどのように行われているのですか。

菅野

可能な限り登校させています。スクールカウンセラーなどの協力を得ながら、登校をめざしています。

阿部

その数はどのくらいいるのですか。割合でも構いません。

菅野

全校生徒900人ちょっといる中で、割合としては1%いかないくらいだと思います。学年で一人二人というところです。

阿部

学年で1人なら、心配しすぎることはないですかね。

菅野

運動が好きで、コミュニケーションを取ることが好きな生徒が多いので、他校と比べると少ないという実感があります。

阿部

わかりました。ありがとうございました。

副校長

進路支援グループお願いします。

佐々木（進路支援G）

進路支援グループ佐々木です。進路についての学習活動をすすめるという形で支援しております。進路を考えるためには、学力をつけることが土台となると考えております。家庭学習の時間に関しては、伸びている実感がありますが、ただ分散登校になり、家庭学習に頼るところが多かったため、数字をどこまで信じていいのかという問題もあります。もう一つの懸念は、オンライン授業の中で、ひととおりの説明をして中間テスト実施したら、理解できている生徒とできてない生徒の開きが大きくなってきていたということです。できていない生徒へのフォローをどうするか、今後の課題です。

進路の場合は、個別面談にICT機器をつかってこまめに相談できるため、頻繁にデジタルツールを使って情報発信ができることは利点です。生徒との繋がりやコミュニケーションをはかっていければと思っています。

副校長

すべてのグループから報告してから質疑にうつらせていただきます。

## 川瀬

広報グループ川瀬です。まず始めに、学校運営協議会の運営です。このように評価部会で意見をいただいてもなかなか反映できていない現状がありますので、周知して、校務運営にいかせるように進めていきたいと考えています。グループリーダーが出席しているので、まずはグループで周知していただきたいです。掲示板で打ち合わせにあげて内容について理解してもらうような取組もしていますので、こちらでの成果も含めて集約していきたいと思っております。

次に、地域連携についてです。コロナ禍で、生徒を動かすことができなかつたので、地域に出ていってお手伝いをさせてもらうのが難しかった状況ことは今年度も続いています。今後でもできる限りやっていきたいと考えております。

またホームページでも情報を発信しています。一昨年に大きく更新しましたが、各部署から情報の更新については、概ね好評をいただいております。難しいのは、各部活動が土日大会で活躍してきた成果を迅速にホームページにアップすることです。なかなか思うように行かず難しいと感じており、今後の課題です。

学校説明会は第1回を瀬谷公会堂で開催しました。中学生と保護者に旭高校の良さを直接的に見ていただけたと考えております。アンケート結果も、概ね高評価をいただいております。11月6日は体験デー、12月の第2回説明会は生徒が主体的に実施できるように考えていきたいと思っております。

## 五反田（管理運営G）

管理運営グループ五反田です。よろしくおねがいします。管理運営の2つの柱は、ICTと防災です。昨年度3月から5月が一斉休業となり、全国的にオンライン授業がクローズアップされてきました。また、今年度の9月もオンライン授業と1・2年は週一登校、3年は週二登校で、時間割通り登校するという中で、オンライン授業という言葉だけが独り歩きしているかなという印象もあります。来年度はさらに学習コンテンツが導入されるという話もあり、オンライン授業のみではなく、生徒が主体的に学べる環境づくりとして、ICT環境を進めていくことが必要だと考えています。校内のWifi環境ですが、BYODは接続率が低かつたので、積極的に推進し、現在6割の生徒が接続済みですが 極力、校内のWifi環境でつないでほしいということで進めたいと思っております。教室にも増設しながら、予算もあるので除々に予算立てしながら、校内の環境整備に務めていきたいと考えています。

次に防災についてです。本来であれば放送をかけ避難経路を確認し、実施が必要ですが、密を避けるために教室で実施しました。避難訓練の必要性を高めるためにも警報音を流して、シェイクアウトも行いました。避難経路は倒壊を想定して、自分の身は自分で守ることをテーマに実施しました。今後も、今週頭にも地震がありましたが、揺れを感じたら身を護る、自助を第一に指導していきたいと思っております。

## 渡辺会長

ホームページ担当を私も大学でしております。先程、更新のご苦労のお話がありましたが、私共も部活動の結果を当日マネージャにさせるようにしたら、すぐ更新できるようになりました。LINEでグループを作って、あげてもらおうと効率的になりまして、高校では、LINE

のグループなど難しいところもあるのかもしれませんが、参考までにご紹介させていただきました。

副校長

本校でも生徒が主体的にそのような活動ができるといいなと思います。  
他にご質問等はいかがでしょうか。

岡田

佐々木先生が、リモートだと差がつきやすいというお話をされていましたが、最近は格差がついたことをつかみづらいように思います。打ち合わせ等も、ブラッシュアップできたり、短時間で実施できたりするようになってきましたが、学校さんと違ってテストがないので、誰ができていて、誰ができていないかを、格差をつかみきれていないように思います。そうした部分をはかりとる仕組みができていくといいと思います。

副校長

いろいろなお話をありがとうございました。こちらで評価部会は終わらせていただきます  
このまま、学校運営協議会にうつります。 以上